

高等学校 令和7年度（1学年用）教科 数学 科目 数学Ⅰ

单位数： 3 单位

(1組:) (2組:)
(3組:) (4組:) (5組:)

使用教科書：（ 新編 数学 I 数研出版 ）

の目標：

【学びに向かう力、人間性等】 学習内容を自身の考えで解こうとしたり、友達と考えを共有したり、説明したりできる。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	式の計算 【知識及び技能】 用語や公式を理解し、計算ができる 【思考力、判断力、表現力等】 見通しを持ち、自分の考えを持って問題に取り組むことができる 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容を自身の考えで解こうとしたり、友達と考えを共有したり、説明したりできる。 定期考査	1. 多項式の加法と減法 2. 多項式の乗法 3. 因数分解	【知識・技能】 用語や公式の理解、計算力を定期考査にて評価する 【思考・判断・表現】 自身の考えで問題に取り組むことができるかどうかを日頃の授業での発言、態度や定期考査にて評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取り組み、課題の提出状況などで総合的に評価する	○	○	○	12
	実数・1次不等式・命題 【知識及び技能】 用語や公式を理解し、計算ができる 【思考力、判断力、表現力等】 見通しを持ち、自分の考えを持って問題に取り組むことができる 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容を自身の考えで解こうとしたり、友達と考えを共有したり、説明したりできる。 定期考査	1. 実数 2. 根号を含む式の計算 3. 不等式の性質 4. 1次不等式 5. 命題と条件 6. 命題とその逆・裏・対偶 7. 命題と証明	【知識・技能】 用語や公式の理解、計算力を定期考査にて評価する 【思考・判断・表現】 自身の考えで問題に取り組むことができるかどうかを日頃の授業での発言、態度や定期考査にて評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取り組み、課題の提出状況などで総合的に評価する	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
	定期考査			○	○		1
2 学 期	2次関数とグラフ・2次関数の値の変化 【知識及び技能】 用語や公式を理解し、計算ができる 【思考力、判断力、表現力等】 見通しを持ち、自分の考えを持って問題に取り組むことができる 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容を自身の考えで解こうとしたり、友達を考えを共有したり、説明したりできる。 定期考査	1. 関数とグラフ 2. 2次関数のグラフ 3. 2次関数の最大・最小 4. 2次関数の決定	【知識・技能】 用語や公式の理解、計算力を定期考査にて評価する 【思考・判断・表現】 自身の考えで問題に取り組むことができるかどうかを日頃の授業での発言、態度や定期考査にて評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取り組み、課題の提出状況などで総合的に評価する				14
	定期考査			○	○		1
	2次方程式と2次不等式 【知識及び技能】 用語や公式を理解し、計算ができる 【思考力、判断力、表現力等】 見通しを持ち、自分の考えを持って問題に取り組むことができる 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容を自身の考えで解こうとしたり、友達と考えを共有したり、説明したりできる。 定期考査	1. 2次方程式 2. 2次関数のグラフとx軸の位置関係 3. 2次不等式	【知識・技能】 用語や公式の理解、計算力を定期考査にて評価する 【思考・判断・表現】 自身の考えで問題に取り組むことができるかどうかを日頃の授業での発言、態度や定期考査にて評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取り組み、課題の提出状況などで総合的に評価する				20
	定期考査			○	○		1
3 学 期	図形と計量・データの分析 【知識及び技能】 用語や公式を理解し、計算ができる 【思考力、判断力、表現力等】 見通しを持ち、自分の考えを持って問題に取り組むことができる 【学びに向かう力、人間性等】 学習内容を自身の考えで解こうとしたり、友達と考えを共有したり、説明したりできる。 定期考査	1. 三角比 2. 三角比の相互関係 3. 三角比の拡張 4. 正弦定理 5. 余弦定理 6. 正弦定理と余弦定理の応用 7. 三角形の面積 8. データの整理 9. データの代表地 10. データの散らばりと四分位数 11. 分散と標準偏差	【知識・技能】 用語や公式の理解、計算力を定期考査にて評価する 【思考・判断・表現】 自身の考えで問題に取り組むことができるかどうかを日頃の授業での発言、態度や定期考査にて評価する 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中の取り組み、課題の提出状況などで総合的に評価する	○	○		1 合計 90
	定期考査			○	○		1